

新たなブラッシング指導のバイブル！



かとうひさこのブラッシングガイド

加藤久子 著

A4判変/116頁 定価：本体 3,800円＋税
医歯薬出版（2015年12月）東京都千代田区・スウェーデンデンタルセンター
評・弘岡秀明

歯科の二大疾患といわれる齲蝕と歯周病は、細菌性プラーク（バイオフィルム）によって引き起こされるある種の感染症で、その予防には、患者さん・術者双方による歯肉縁上のプラークコントロールが不可欠です。

また、最近では、インプラントの臨床応用に伴って、インプラント周囲病変に罹患する患者さんが増えてきましたが、いまのところは治療法が確立されていないため、インプラント周囲病変に罹らないよう、インプラント治療が計画された時点から予防に取り組むことが大切です。

このように、予防の大切さ、その基本となるブラッシングの大切さを理解していても、実際に医院で患者さんにブラッシング指導をするとき、後輩のスタッフにやり方を教えるときなどに、なかなかうまくいかないこともあるかと思

います。

そういった悩みを解消してくれる書籍が、このたび、医歯薬出版から発売された『かとうひさこのブラッシングガイド』です。著者の加藤久子さんのことは、『デンタルハイジーン』の読者の皆さんならよくご存じと思いますが、日本とアメリカの両国で歯科衛生士の教育を受けた数少ない日本人歯科衛生士で、これまで多くの歯科学術大会での講演、メーカー主催のセミナー、歯科の雑誌や書籍の執筆などで活躍されています。

本書では、まず前半に、歯ブラシ、補助的清掃器具、歯磨剤や洗口剤などの製品とその使い方が紹介されています。多くのメーカーでインストラクターを務められてきただけあって、国内で入手できる器材を幅広く網羅し、それらの特徴を踏まえてどのような患者さんや部位に使用すればよいか、わかりやすく示されています。また、患者さんへのホームケア指導の方法がステップごとに紹介されているのも、臨床の参考になるでしょう。

後半は、インプラント、義歯、補綴物、矯正装置など天然歯以外の清掃方法と、天然歯でもプラークコントロールが難しい部位へのアプローチについて解説されています。さらに訪問診療時の口腔ケアにも言及されていて、臨床でのあらゆる場面を想定したプラークコントロールの方法が、この一冊で学べます。

本書は、新人歯科衛生士にとってはブラッシング指導のよいテキストになるでしょうし、ベテランの歯科衛生士にとっては自身の臨床の再確認に役立つことでしょう。予防の基本となるブラッシング指導を、本書を読んでブラッシュアップしてみてください。